

おうみはちまん

広報
omihachiman

3

2022

No. 144

春を導く甘い香り

安土町常楽寺にある沙沙貴神社で蠟梅ろうばいの花が1月～2月中旬に見ごろを迎え、境内を彩りました。
花びらに蠟細工のような光沢があり、梅に似た花をつけることから「蠟梅」の名がついたといわれています。
同神社には、1975年に京都御所から「素心蠟梅そしんろうばい」の1本が株分けされたのをきっかけに「満月蠟梅」と合わせて2品種、24本が植えられています。境内には甘く上品な香りが漂い、一足早い春の訪れを告げていました。